

市議会だより



県立高校跡地利用の調査
奈良県フットボールセンター
(並行在来線等問題特別委員会 平成25年8月2日)



研修会 - 「今、市議会に求められていること」
(平成25年10月10日 産業研修センター)



平成25年9月定例会一覧

*****		平成25年9月定例会一覧		*****	
○議案の審議結果		○委員会		○本会議(主な内容)	
予算(原案可決)	3件	5・12・27日	議会運営委員会	開会	9月5日
条例(原案可決)	6件	13日	総務文教消防委員会	閉会	9月27日
その他(原案可決)	8件	17日	産業厚生建設委員会	会期23日間	
その他(原案認定)	8件	18・19・20・25日	決算特別委員会		
その他(原案同意)	1件				
人件(原案同意)	1件				
請願(採択)	1件				
議員提出(原案可決)	3件				
議員提出(原案否決)	3件				
合計	34件				
				5日 会期の決定	
				提案理由説明	
				補足説明	
				決算特別委員会の設置	
				代表質問・一般質問	
				11日 一般質問	
				議案・請願の委員会付託	
				12日 一般質問	
				追加提案	
				27日 委員長報告・質疑・討論・採決	
				提案理由説明・採決	
				議員提出議案	
				提案理由説明・質疑・討論・採決	
				閉会中の継続審査	

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。

◇ 9月定例会

平成25年度一般会計補正予算（第2号）

(1億8,502万6千円) 外市長提出25議案を可決

◇ 議員提出議案「滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」を可決
⇒ 2常任委員会から3常任委員会へ
(各委員会定数10名、1議員2委員会に所属)

◇9月5日に本会議を開き、まず会期を27日までの23日間と決めた後に、平成25年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案25件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、名誉市民に福田富昭氏を推挙する議案に賛成全員で同意されました。

次に、民生委員推薦委員会に水野達夫氏、原明氏の2名を指名推薦し、引き続き、決算特別委員会の設

本会議

市議会9月定例会は、9月5日から27日までの23日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成25年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案26件（追加議案1件を含む）、請願1件、議員提出議案6件、閉会中の継続審査の合計34件です。

審議の結果、市長提出議案の26件は原案どおり可決または同意、認定され、請願1件については採択されました。また、議員提出議案の3件は原案どおり可決されましたが、3件については原案否決となり、閉会中の継続審査につきましては、原案どおり可決されました。

置を決めるとともに委員の選任を行いました。

◎なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

委員長	中川 勲
副委員長	浦田 竹昭
委員	原 野末利夫
委員	森 結
委員	前田 新作

◇11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案及び請願を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の27日には本会議を再開

第4回臨時会

し、今定例会中の発言の一部削除についての報告の後、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長、及び決算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告があり、市長提出議案は一括して採決され、いずれも委員長の報告のとおり、賛成全員で可決されました。また、請願については採択されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市教育委員会の委員に千保史雄氏（赤浜）の選任について追加提案され、賛成全員で同意いたしました。

続いて議員提出議案6件の提案理由説明と採決を行い、3件が可決、3件が否決されました。

最後に議会運営委員会の閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会といたしました。

平成25年第4回市議会臨時会は、会期を7月23日の1日間と決めた後に、議案第55号動産の取得について外1件の市長提出議案2件と報告5件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の産業厚生建設委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、産業厚生建設委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、第4回臨時会を閉会といたしました。

日誌

- 25年8月
 - 1～2日 並行在来線等問題特別委員会
行政視察（京都府・奈良県）
 - 5日 富山地域衛生組合
 - 6日 三市議会議員研修交流会
 - 9日 議会運営委員会協議会
 - 12日 富山県日韓友好議員連盟
理事会、総会、講演会
 - 19日 新川育成牧場組合議会（魚津市）
新川畜産公社理事会（魚津市）
 - 20日 富山県市議会議長会
臨時総会、県知事との懇談会（富山市）
 - 26～27日 富山地域衛生組合議会
視察研修（愛知県）
 - 29日 富山県東部消防組合議会
並行在来線に関する
正副委員長会議（魚津市）
議会運営委員会（魚津市）
- 9月
 - 2日 定例議員協議会
 - 5～27日 9月定例会
 - 15～16日 姉妹都市交流訪問（北海道豊頃町）
 - 26日 新川畜産公社理事会、
臨時総会（魚津市）

27日 議会報編集委員会

10月

2日 富山県市議会議長会
市議会議員研修会（富山市）

10日 議会報編集委員会

並行在来線等問題特別
委員会協議会

15日 富山県市議会議長会

24日 滑川中新川地区広域情報
事務組合議会10月定例会

富山地区広域圏事務組合議会
議員協議会、定例会（立山町）

29～30日 富山地区広域圏事務組合
行政研修（大阪市）

代表質問

9月定例会では13名の議員が質問を行い、46項目について市当局の見解を求めました。
質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。）
また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



- 1 上田市長任期最後の4年目を迎えて
- 2 社会資本整備について
- 3 市民交流プラザの利活用について
（会派「一心クラブ」） 前田 新作 議員

Q マニフェストの達成度をどのように判断されているのか。

A 上田市長 市長に就任してから3年半が過ぎ、この間、マニフェストの実現に努力を重ねてきた。7割程度が達成または順調に進捗していると思っている。

Q 残された事業はどんなものがあるのか。

A 上田市長 マニフェストを開いてみた。手つかずのものもいくつかある。例えば、学校の花壇に野菜や薬草を植えること、産科医を増やすこと、企業誘致についても新しい企業の導入がなかった。

Q 財政危機に対してどのように改善されたのか、財政健全化のための施策は。

A 小幡総務部長 財政危機に対して条例をつく

り、透明性の高い財政運営の推進として中期財政計画、実質公債費比率の推計、財務諸表等を公表。更にはホームページで借金時計の掲載、予算等を家計に例えた場合の状況なども広報で知らせている。

Q 沖田川放水路事業について、期成同盟会の総会で完成は平成28年度と説明、一日も早い完成が望まれる。もっと積極的に働きかけられないか。

A 砂田建設部長 放水路築造工事は、地域住民や市としても早い完成を切望している。今後も国、県に対し強く要望していく。

Q 国道8号の4車線化、北野から魚津市佐伯地内までの工事の見通しは。また、延槻橋の工事は。

A 砂田建設部長 魚津市

佐伯から北野間の延長2.9キロメートルは平成27年度に開通見通しである。早月川にかかる橋梁工事については、魚津側の一部で上部工が発注された。

Q 市民交流プラザの整備計画として、こども図書館を基本として、子育て中の親子の交流の場、子育て支援機能、放課後児童対策の機能などとなっているが、専任の資格のある職員の配置で人件費等必要となるがどうされるのか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 実際、管理運営にあたっては、資格や知識、経験を持った人が必要になってくる。

その他の質問事項

Q 教育について

Q 観光行政について

一般質問



水野 達 夫議員

1 中滑川駅周辺の土地利用計画について
2 ことも図書館について

Q 中滑川駅新駅舎の開業はどのようになるのか。解体の今後のスケジュールは。

A 熊本企画政策課長 新

駅舎は今年度中の完成を予定していると聞いてい

る。残りの建物の取り壊しについては、まず残りのマーカー部分を取り壊して、その後、5階建てのビル部分の取り壊しがされると聞いている。

Q 駅前広場周辺の民有地を購入して、例えばコ

ミュニティ広場や地場産

野菜の直売所等の構想を前向きに検討できないか。

A 膳亀農林課長 駅前広

場周辺については、近隣の高齢者が集える場所、野菜等の直売所等がないことから、駅周辺の土地利用を検討する際には、直売所も検討の中に入れていきたい。

Q 近年の浸水被害が頻繁に起こる中滑川駅周辺では、この場所が調整池の適地だと思ふ。まずは、調査をお願いできないか。

A 砂田建設部長 中滑川

駅の土地利用が未定であり、もし駐車場等が整備されるのならば、調整池として利用することも考えられる。調査はまだ若干早いような気がする。

Q 昨年より土地利用計画を早期に示してほしいと言っているが検討はされたのか。

A 砂田建設部長 検討し

ていない。

Q 昨年9月に策定された総合計画実施計画に「こども図書館」の名称すら

ないものが補正予算であ

がつてくること自体が性急に事が運び過ぎていて

ように思うがどうか。

Q 嶋川生涯学習・スポーツ課長 総合計画には載っていないが、子育て支援的な部分や読書の定着化を図っていききたいという思いから今回整備していきたい。

Q 市長の提案理由にあるさまざまな機能を持たせるには面積が狭過ぎる。社会福祉協議会事務局等の再配置を考へては。

A 上田市長 全体を見て

再度全部練り直す気持ちでやってみたいと思う。

Q 子育て支援機能を充実させた一画に図書コーナーがあるぐらいのイメージならば大賛成だし、十分時間をかけてやればいいと思う。再考する余地はないのか。

A 上田市長 もう一度再

考しながらあるべき姿を検討したい。

Q 市有林4カ所、市行道

林6カ所と聞かすが、どこにどれだけの広さと概算

で何本位あるのか。また、松なのか杉なのか。

A 膳亀農林課長 市有林

は大日が3千553平方メートルで115本の杉、魚津市島尻が4千922平方メートルで2千500本の杉、上市町黒川が1千795平方メートルで300本の主に松、上市町穴谷が1千603平方メートルで450本の杉である。また、市行道林は、菫輪が2万9千752平方メートルで1万2千本の杉、東福寺は城山、松ヶ平、堀切の3カ所合わせて3万1千937平方メートルで6千794本の杉、小森は1千727平方メートルで2千500本の杉、上市町伊折では4万9千586平方メートルで1万5千本の杉である。

一般質問



石倉 正 樹議員

1 市有林・市行道林について問う
2 滑川市開発指導要綱に基づく協議書について問う
3 災害に強いまちづくりの観点から問う

Q 今後の利用をどう考えているのか。

A 膳亀農林課長 平成24

年7月に市公共建築物等木材利用推進方針を策定し、木造化が困難な場合を除き木造化を図るものとしている。今後は、

東部小学校多目的ホールをはじめ児童館については木材を利用することを考えている。

Q 市開発指導要綱に基づ

く協議書について問う。

いつごろつくられ、その目的は。他市にはないと聞かすが本当に滑川市に必要なのか。

A 児島まちづくり課長 平

成20年4月1日に施行し、滑川市と黒部市が持っている。無秩序な開発によるごみ、排水等、近隣住民とのトラブルを防止するため、関係者と

の事前協議をし、開発す

ることが必要と考える。すでに開発され宅地にもなっている土地にも必要なのか。滑川市のまちづくりの観点から区域を定め、まちなか住宅取得支援事業を行い補助金制度まであるのになぜ必要か。

Q 市有林・市行道林について問う

A 膳亀農林課長

市有林は大日が3千553平方メートルで115本の杉、魚津市島尻が4千922平方メートルで2千500本の杉、上市町黒川が1千795平方メートルで300本の主に松、上市町穴谷が1千603平方メートルで450本の杉である。また、市行道林は、菫輪が2万9千752平方メートルで1万2千本の杉、東福寺は城山、松ヶ平、堀切の3カ所合わせて3万1千937平方メートルで6千794本の杉、小森は1千727平方メートルで2千500本の杉、上市町伊折では4万9千586平方メートルで1万5千本の杉である。

一般質問



1 漁業振興事業費について
 2 北陸新幹線の開業にあたって
 3 児童館の改築について

森 結議員

一般質問



1 学校図書と図書館専任司書について
 2 交流プラザについて
 3 運動施設整備の中で（滑川市は青雲閣を活用して合宿ビジネスを展開すればどうか）

開田 晃 江議員

Q 滑川と新湊のホタルイカ漁がわずか1・5トンの差で、集魚灯の設置に90万円の税金を投入するのは理解できない。

A 網谷商工水産課長 漁獲量の多寡というよりも、漁業振興事業として集魚灯を設置するもので、その効果を検証するものである。

Q 新幹線開業後の経済効果は県内で約88億円といわれているが、滑川市の経済効果はどれだけか。

A 熊本企画政策課長 当市の経済効果の試算は行っていない。経済効果が出るように、本市の活性化につながるよう努める。

Q 新幹線効果で地価公示価格は下落率が縮小あるいは横ばい状態だと言われているが、当市の地価

状況はどうか。

A 熊本企画政策課長 本市の地価公示価格は近年縮小傾向にあることは確認しているが、新幹線による効果か不明である。

Q 第三セクター運賃の値上げ幅はどうか。

A 熊本企画政策課長 運賃については値上げとなるが、先行事例では最も低い水準となっている。

Q 新幹線開業後には富山発のサンダーバードはどうなるのか。

A 熊本企画政策課長 J R西日本は、特急の富山への乗り入れは考えていない。県のほうでは継続してJ R西日本に働きかけている。

Q 滑川・水橋駅間に新駅設置を多くの私以外の議員が望んでいるが、採算性を考えて県は相手

にしないし、新駅設置について滑川市の考えは。

A 熊本企画政策課長 現在、市議会とともに、新駅の設置の可能性について検討している。県の調査では厳しい結果が出ており、新駅の設置はかなり困難だと考えている。今後は県に粘り強く働きかけたい。

Q 児童館の基本計画は12月議会までに出せるか。

A 上田市長 基本計画は出せるが、基本設計は少し時間がかかる。

Q 市有林だとコストが高くなると思われる。

A 上田市長 市有林で造ると買うより高くつくが、市制が始まる前から、大事な木を使いたい。また、国、県の方針でもあることから国産材や県産材を使用したい。

Q 滑川市子ども読書活動推進計画が策定されたと聞いている。どのような内容か。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 基本方針としては、子どもたちが積極的に読書にかかわる機会を提供することを言っている。

Q 市内各学校の蔵書数は目標に達しているか。

A 坂口学務課長 標準冊数に対し、77%から132%の率となっている。蔵書が足りない学校が4校で早月、滑川両中学校と西部、東部小学校となっている。

Q 両中学校に専任司書の配置が必要では。小学校への対応は。

A 坂口学務課長 図書館司書の役割の重要性は十分に認識している。しかしながら、現時点では、

学校図書館法第5条の規定に基づいて配置している司書教諭をより一層活用して、読書活動を推進していく。

Q 子育て支援センターの中で健康センターとタイアップし、料理教室はどうか。

A 砂田子とも課長 交流プラザの中で調理教室を利用した離乳食教室や、ママと子どものための食育教室など、健康センターと連携してメニューの充実を図っていかなければならぬと考えている。

Q 青雲閣の耐震診断の結果はどうか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 本館及び体育館の診断を行ったところ、いずれもIs値が低く、本館では0・366、体育館は0・247という数値が出ているた

め補強を要するという結果である。

Q サッカー場やスポーツ・健康の森公園が完成し、大きな大会が開催されるのが予想される中、魚津市や黒部市、そして富山市に宿泊している現状をどのように考えるか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 せっかく滑川へ来られているのに、市外に宿泊は寂しい。この問題については大きな課題と考えている。

Q 青雲閣が3階、4階建て、そして個室対応もできないか、今後の姿を検討してほしい。

A 上田市長 これは私の次のテーマだったので、私が続く限り前向きに検討させてほしい。

一般質問



岩城 晶 巳議員

1 みんなでつくる協働のまち推進事業について
2 市有林の活用について

Q「平成24年度明るく元
気なまち推進事業」は、
予定の300万円が締切りで
満杯になった。今年に開
しては「みんなのでつく
る協働のまち推進事業」
に、まだ金額の余裕があ
ると聞くが。

A熊本企画政策課長 予
算300万円で、現在133万7
千円が残っている状況で
ある。

Q今年半分近く残って
いる原因は何か。

A熊本企画政策課長 本
事業の申請には、同一事
業につき3カ年度を限度
とするという条件があ
る。平成24年度の申請団
体は28あった、そのうち
半分の14団体について
は、平成24年度が3カ年
度目を迎えた。本年度引
き続き申請ということに
なると新たな事業が必要

となるわけで、そういう
ことが予算の残というこ
ろにつながっているとい
うふうを考えている。

Q残すというの推進不
足ではないか、利用促進
策は考えているか。

A熊本企画政策課長 市
のホームページで周知す
ることや、各町内会長に
再募集の文書を配布して
周知するということも考
えている。

Q市有林と市行造林の本
数は。

A膳亀農林課長 大目が
115本、魚津市島尻が2千
500本、上市町黒川300本、
穴谷450本、市行造林につ
いては、養輪1万2千
本、東福寺6千794本、小
森が2千500本、伊折が1
万5千本となっている。
Q4万本近くある滑川市
の大きな財産である。非

常に搬出が大変なので、
買うよりも高くついでで
もこれを利用するのか。

A膳亀農林課長 国のほ
うでも公共施設の建築に
は積極的に木材を利用し
ていくということで、市
も推進方法を策定してい
る。東部小学校の多目的
ホールに利用したい。

Q多目的ホールの基本構
想は。

A折田教育次長 全体で
300平方メートル程度の木
造づくり、授業や集会等
多目的活用及び外部から
利用できる男女のトイレ、
身障者用トイレ、倉
庫等を予定している。
その他の質問事項

Q実のなる樹木の植栽事業に
ついて

Q新規採用職員について

Q社会資本整備について

一般質問



中島 勲議員

人口減少社会、超高齢化社会の対応策について

Q人口減少社会と超高齢
化社会の中での自助・共
助・公助についてどのよ
うに考えているか。

A小幡総務部長 高齢者
が住みなれた地域で安心
して暮らし、生きがい
を持つて社会参画できるよ
うにするためには、自
助・共助・公助による協
働の考え方のもと、市
民、地域、行政が担うべ
き役割を再確認したうえ
で目標を共有し、おのお
の役割を担いながらま
ちづくりを進めることが
重要であると考えてい
る。

Qコンパクトシティにつ
いてどのように考えてい
るか。

A小幡総務部長 都市機
能をコンパクトに集約す
ることにより社会資本投
資を削減することができ
るほか、医療、介護など

もより効果的なサービス
が可能となるまちづくり
であると考えている。

Q今後5年間の一般会計
の歳入歳出の状況、見込
みが議会に報告された
が、今後予算編成をやる
中でどういうことが考え
られるか。

A小幡総務部長 歳入は
横ばい、歳出は投資的経
費は今がピークで今後通
減していく一方、子育て
費用などの扶助費、介護
保険などへの一般会計か
ら特別会計への繰出金が
確実に増加すると考えて
いる。

Q人と人のかかわりが
前提になる支え合いマツ
プについて当局の考え
は。

A藤田福祉介護課長 地
域で孤立しつつある住民
を発見し、見守り体制の
構築を図るとともに、地

域の抱える課題を認識す
ることを目的としている
ものであり、滑川市社会
福祉協議会がセミナーを
開催し全地区で作成し
た。要援護者が住みなれ
た家や地域で安全かつ心
豊かに生きていくために
は住民同士のかかわりが
欠かせないことから今後
もマップづくりへの支援
を通して体制の構築を
図っていきたい。

Q地域包括支援体制は万
全なのか。

A藤田福祉介護課長 現
在専任として保健師、社
会福祉士など5名で運営
している。今後、超高齢
社会に対応するにあたり
困難な事例も増加してい
ることから、専門職の増
員等、さらなる体制の整
備が必要となる。

一般質問



浦田 竹 昭議員

- 1 北アルプス横断道路構想推進について
- 2 並行在来線新駅設置について
- 3 小水力発電システム推進について 他

Q北アルプス横断道路の政策課題としての認識について、また、立山、上市、朝日、それぞれ候補3ルートの本化の選定への対応、並びに関係市町との連携、対応について見解を問う。

A熊本企画政策課長 新ルートの本化の選定への対応、並びに沿線関係地区との連携、対応について見解を問う。

Q熊本企画政策課長 首都圏への道路網の構築として、経済、観光、人の交流に大きな効果をもたらす構想ではあるが、政策課題というよりは壮大な夢想として認識している。候補3ルートの本化には、県内自治体の意思統一、連携した活動が必要であり、その内上市ルートが最も期待の持てる計画であり、特に上市町と協力して実現に向けて努力していきたい。

A熊本企画政策課長 新駅設置は、将来的なまちづくり、産業、観光等、あらゆる面にかかわりがあり、重要な政策課題として認識している。候補地については、それぞれメリット、デメリットがあり、それらを検討しているが、一本化までには至らず、今後とも引き続き関係地区と連携、対応していきたい。

Q並行在来線新駅設置の政策課題としての認識について、また、候補3

A砂田建設部長 県において県内の農業用水を利用した発電に適した候補

Q小水力発電システム推進の政策課題としての認識について、また、小水力発電開発の現状と今後

A嶋川生涯学習・スポーツ課長 指定管理者、競技団体と意見交換を進めており、その検討、協議を踏まえて、施設全体の整備、活用計画、基本構想に向けて引き続き努力していきたい。また、市内唯一の温泉施設として、その魅力を最大限に引き出せるような形で整備していきたい。

Qこのままでない火災件数であるが、対策はしているのか。

A川崎消防署長 滑川市の火災初動体制は、滑川署ポンプ車2台に加えて

Q家族で防災について話し合うことで防災意識の高揚を図るためにも「家族防災の日」を制定してはどうか。

A岡本総務課長 突然の災害に備えて、慌てず

Q特色ある学校づくり推進事業は、どのような事業が実施されその成果は。

A坂口学務課長 地域や保護者と連携した立山登山や夏季休業中の自主的学習会、学習プリント作成、地域人材を活用した学習、科学の実験教室等に取り組んでいる。各学校とも多くの児童が参加し成果があった。2学期以降も予定されている事業があり今後も支援していく。

一般質問



中川 勲議員

- 1 安全安心のまちづくりについて
- 2 市立図書館について
- 3 学校教育について

Q富山県東部消防組合が組織され5カ月経過したが、その効果は出たか。

A嶋川生涯学習・スポーツ課長 巡回広報を実施している。市広報なめりかわ9月号に火災多発に関する注意喚起の掲載や、防災行政無線で火災予防の広報をしている。

Q家族で防災について話し合うことで防災意識の高揚を図るためにも「家族防災の日」を制定してはどうか。

A岡本総務課長 突然の災害に備えて、慌てず

Q特色ある学校づくり推進事業は、どのような事業が実施されその成果は。

A坂口学務課長 地域や保護者と連携した立山登山や夏季休業中の自主的学習会、学習プリント作成、地域人材を活用した学習、科学の実験教室等に取り組んでいる。各学校とも多くの児童が参加し成果があった。2学期以降も予定されている事業があり今後も支援していく。

Qこのままでない火災件数であるが、対策はしているのか。

A川崎消防署長 滑川市の火災初動体制は、滑川署ポンプ車2台に加えて

Q家族で防災について話し合うことで防災意識の高揚を図るためにも「家族防災の日」を制定してはどうか。

A岡本総務課長 突然の災害に備えて、慌てず

Q特色ある学校づくり推進事業は、どのような事業が実施されその成果は。

A坂口学務課長 地域や保護者と連携した立山登山や夏季休業中の自主的学習会、学習プリント作成、地域人材を活用した学習、科学の実験教室等に取り組んでいる。各学校とも多くの児童が参加し成果があった。2学期以降も予定されている事業があり今後も支援していく。

Q巡回広報を実施している。市広報なめりかわ9月号に火災多発に関する注意喚起の掲載や、防災行政無線で火災予防の広報をしている。

A嶋川生涯学習・スポーツ課長 巡回広報を実施している。市広報なめりかわ9月号に火災多発に関する注意喚起の掲載や、防災行政無線で火災予防の広報をしている。

一般質問



野末利夫議員

- 1 市長に就任後、今日までの成果と課題について
- 2 交通安全対策について
- 3 子育て支援について

Q市長就任後、今日までの成果と課題は。

A上田市長 「子ども第一主義」について、福祉と教育を一本化し、子どもに関する手続は子ども課で全部やる。滑川の将来の子どもをいかに育成するか、そして親の皆さんには、事務手続もやりやすくした。「こだわりの健康づくり」について、基礎体力をつくる陸上競技場ができたことや、子どもたちが躍動し、一般の方も芝生広場で健康づくりの場としてほしい。「常に住民が真ん中にあるまちづくり」について、市長と語る会で皆さんから市政に対する提案、要求、要望等を聞いている。「健全な財政の確立」について、全国市長会で交付税及び補助金等の支援は必ず対前年度を割るなど主張した

結果よくなった。これは全国市長会の成果である。このことにより財政は健全な方向に向かった。課題として、職員の資質を上げること、新しい政策提案ができること等、職員の意欲を変えながら頑張る職員を育てていきたい。

Q再出馬に向けての市長の表明と決意は。

A上田市長 「もう一回頑張れよ」という声の数が日ごとに増えている。市民を支えること、これを柱に行政を支えること、政策におぼれることなく、しっかりと市民を支える政治を行っていきたい。

Q小学生に自転車免許証を交付し、ルール、乗り方の指導をしてはどうか。

A石川教育長 教育委員

会としては、免許証ではなく、シールなどであれば、子どもたちに受け入れやすいと思うので、今後研究したい。

Q横断歩道があることを知らせる標識に、青色の発光装置つき横断標識を設置されては。

A下野生活環境課長 設置は県公安委員会が所管しており、滑川警察署を通じて提案していきたい。

Q市内のゼロ歳児が使うおもむつを無料化にしては。

A砂田子ども課長 市では中学校修了までの医療費の無料化を実施しており、県においても子育て応援券を配布するなど子育て家庭の経済的負担の軽減を図っている。現在のところ無料化は考えていない。

Qふるさと龍宮まつりへの来場者数と街流しなどへの市職員の参加状況は。

A網谷商工水産課長 イ

一般質問



原明議員

- 1 ふるさと龍宮まつりについて
- 2 防災対策について
- 3 雨水の排水対策について
- 4 農業の振興について

校から、574人の参加をいただいている。

Q甚大な被害が予想される気象現象について警戒を呼びかける特別警報が滑川市に発表された場合の体制は。

A岡本総務課長 特別警戒が発表された場合や災害発生のおそれがある場合、防災行政無線、広報車、情報配信メール、ケーブルテレビなどの情報伝達手段を用いて確実な情報伝達を行っていきたい。

Q街流しには早月、滑川両中学校の生徒が参加している。郷土芸能の伝承に重要な機会であり、笠、扇子を使った街流しの参加を検討してはどうか。

A網谷商工水産課長 中学生の笠、扇子踊りについては、学校、教育委員会の意見を聞き、実行委員会との反省会に提案したい。滑川、早月、両中学

Q新幹線の敷地内からの雨水の排水処理は万全か。

A砂田建設部長 雨水排水路への影響は地表面の形状の変更により発生する流出係数の違いにより、水位の上昇は10ミリか20ミリと聞いている。

Q新幹線の路線から、油脂や金属の粉などが、農業用水に流出する心配がないか。

A砂田建設部長 東北、九州及び長野新幹線では、油脂類の流出は確認されていない。

Q学校給食への野菜供給量と滑川産野菜の使用率と品目は。

A膳亀農林課長 学校給食での野菜等の総使用量は、平成23年度が47品目で93・6トン、24年度が54品目で95・1トン、滑川産の使用率は平成22年度が8・4トンの10・9%、23年度は14・9トンの16・8%、24年度は20・1トンの21・2%と増加している。使用品目は、22年度が21品目、23年度が23品目、24年度は31品目となっている。

一般質問



国民健康保険について

古沢利之議員

Q平成23年度に国保税が引き上げられた。その結果、滑川市の平成23年度の国保税は県内で高いほうから3番目、一人当たりでは9万6千328円となっている。

A濱松市民課長 平成23年度当初の収支予測で、23、24年度2力年で3億8千万円の赤字が見込まれた。一般会計からの繰り入れをするとともに、国保税を11・2%引き上げた結果、県内上位となった。

Q被保険者の負担感は非常に重い。国保加入者の平均所得は約170万円、1世帯あたりの国保税は約16万円。所得の1割だ。国保財政への国の負担割合が1984年から大幅に引き下げられた。市町村国保の財政困難の最大の原因がここにある。

A濱松市民課長 国保会計の運営では、基金の取り崩し、一般会計からの繰り入れなどしているが、国への要望もこれまで何度も行っている。

Q国民健康保険法は第1条で、社会保障および国民健康の向上に寄与することを目的とするとし、第4条で、国は、国民健康保険事業の運営が健全に行われるようにつとめるとしている。国保が健全に運営されるようにするのは国の責務だ。

A濱松市民課長 国民健康保険法にうたわれていることだが、言われたこととはわかった。

Q全国では多くの市町村が一般会計からの繰り入れや繰上充用を行っている。今年度は繰り入れを行わなかったが検討されたい。法定外の繰り入れ

を行ったら、調整交付金などで国からのペナルティーはあるのか。

A濱松市民課長 ペナルティーはある。

Q滑川市は23年度、24年度、8千万円ずつ法定外の繰り入れを行ったが、どれくらいペナルティーがあったと見ているのか。

A濱松市民課長 現段階

ではどれくらいかということとは認識していない。

Q国が本来の役割を果たさないから、市町村が法定外の繰り入れをする。それにペナルティーを科すことというのは許しがたいことだと思わないか。

A濱松市民課長 ペナルティーはかなり厳しいと思うが、数字としてみるのは難しい。

一般質問



- 1 ふるさとに誇りと愛着を持てる教育を
- 2 財政分析を基に、市の財政判断を問う
- 3 薬草植栽事業の検証はいかに

高木悦子議員

Q教育基本法に他者、他国を尊重するためにも自国に対する誇りと愛着が肝要としているが、ふるさと教育は、この考え方に準じているものか。

A石川教育長 教育基本法第2条が、ふるさと教育の基本的な考えの根底にあると考える。

Q公共心を養うためにも地域への誇り、愛着は大切だと思うが、富山県や日本の先人や文化に対する尊重や敬意はどうか。

A石川教育長 特に滑川市に限定しているわけではないが、実際、滑川中心にならざるを得ない。

Q市の歴史教科書の選定は、ふるさと教育を推し進めるにふさわしいか。

A石川教育長 手順を踏んで選んでおり、そういう意味ではふるさと教育に配慮して選んだつもりだ。

Q市採用の歴史教科書では、蔣介石や袁世凱が中国語読みであり、北方領土がロシアに不法占拠されたことも教えていない。先生が教えやすいと進めるのではなく、教育基本法にのっとった、ふさわしい教科書はどっちだという観点を入れてほしい。

A石川教育長 総合的な評価で選んでいるが、今後、十分意を用いながら、子どもたちが正しく理解できる教科書を選びたい。

Q決算カードのデータを基に昭和60年からの資料をつくってみた。澤田市政は中学校など社会資本整備を一気にやっていたが、公債費返済のピークは中屋市政になっている。同時に構造改革があり、国からの歳入が減って実質公債費比率も

上がり、繰上返済もして公債費がかさんだ。そのおかげで、上田市政の公債費が抑えられて、スポーツ・健康の森公園などが実行できたのではないかと。

A杉田財政課長 それぞれの市長の時代背景には、国の社会経済状況変化による財政計画がある。

Q投資的経費の返済は後になって出てくるのだが、平成30年以降の公債費は幾らになる見込みか。

A杉田財政課長 年平均1億円ぐらい増えるの見込んでいます。

Q市道旧国道下島線・柳原中村線の薬草植栽事業の目的は何か。

A砂田建設部長 雑草防止対策及び、「薬のまち滑川」のPRを目的としている。

委員会

9月定例会の委員会の審査から

9月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教消防委員会

審査議案は7議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第58号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第2号)

◆議案第61号 滑川市東福寺野自然公園研修センターの設置及び管理に関する条例の制定について

◆議案第62号 滑川市減債基金設置条例及び滑川市公共施設整備基金条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第63号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第64号 滑川市民会館条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第78号 滑川市東福寺野自然公園研修センターの指定管理者の指定について

◆議案第81号 富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について

産業厚生建設委員会

審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第58号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第2号)

▼議案第59号 平成25年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

▼議案第60号 平成25年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)

◆議案第65号 滑川市国民健康保険条例

の一部を改正する条例の制定について

◆議案第66号 滑川市営住宅条例及び滑川市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第76号 市道の路線認定について

◆議案第77号 滑川市東福寺野自然公園の指定管理者の指定について

◆議案第79号 新川育成牧場組合の解散について

◆議案第80号 新川育成牧場組合の解散に伴う財産処分について

決算特別委員会

審査議案は9議案であり、原案のとおり可決または認定すべきものと決定しました。

▼議案第67号 平成24年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について

▼議案第68号 平成24年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第69号 平成24年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第70号 平成24年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第71号 平成24年度滑川市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第72号 平成24年度滑川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第73号 平成24年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼議案第74号 平成24年度滑川市水道事業会計決算認定について

◆議案第75号 平成24年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

なお、今後改善を求める事項について

は、次のとおりです。

【歳入】

- 1 市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られていることから、その努力に敬意を表するが、口座振替の促進や連帯保証人制度を効果的に活用するなど、さらなる収納率の向上を図りたい。特に、悪質な案件については、預貯金はもちろんのこと、給与、不動産などの差押えなどの法的措置を含めて厳正に対処されたい。
- 2 不納欠損とならないよう初期段階からの徴収や分割納付の徴収に努力されたい。特に固定資産税の滞納についてはその内容を精査すること。
- 3 起債残高が増加傾向にあるので、滑川市健全な財政に関する条例に基づき、公債費負担比率などの財政指標を念頭において、中・長期的な財政運営に努められたい。

【歳出】

- 1 全般的に多額の不用額が発生しているが、予算要求時において前年度の不用額の内容を検証し、また、工事費の算出においては担当部署等との協議を厳重に行うなど、新年度予算に反映されたい。なお、補助事業等に減額があった場合や当初予算に見込んだ人数や数量等で不用額が予想される場合には、速やかに減額補正をするなど、見かけ上の不用額とならないように今後も留意されたい。
- 2 燃料費や光熱水費の量的支出が適正に行われているか、無駄がないかの判断は金額だけでは把握できないので、購入量、消費量といった数量の把握を行うとともに、庁用車のリースも含め一元管理することでコスト削減や省エネ対策に努められたい。
- 3 愛市購買の観点から、全庁及び関係機

関の各種物品等の購入及び工事等の発注にあたっては、地元業者を最優先されたい。

- 4 職員研修費について、大幅に引き上げた予算の割には執行率が低い。職員が積極的に研修等に参加できる体制づくりや雰囲気づくり、研修期間中の執務分担等の配慮が必要とも思われる。さらなる研鑽のためにも、努力をされたい。
- 5 市有遊休地の売却については、状況に応じて形状の変更や価格の見直しを行うなど、なお一層の努力をされたい。
- 6 公共施設の維持管理には今後多額の費用が必要とされることから、全ての公共施設を対象に統合、廃止(売却)も視野にいたれた検討チームを早期に立ち上げるとともに、指定管理についても検証されたい。
- 7 がんなどの病気の早期発見・治療のため、特定健診やがん検診等の受診率向上について、さらなる努力をされたい。
- 8 地球温暖化防止策の一つである「緑のカーテン事業」について、さらなる努力をされたい。
- 9 不法投棄防止のため、警察等関係機関と密接な連携を図り、取り締まりも含めてさらなる防止策を検討されたい。
- 10 生活保護費、扶助費について、対象者の審査を適正かつ厳しく実施されたい。また、生活保護対象にならないように、就労支援等に努力されたい。
- 11 要援護者マップ情報共有システムが有効に活用されるよう、今後も努められたい。
- 12 薬のまち滑川がさらにイメージアップされるよう、先用後利の伝統である配置業の活性化のため、適切な指導をされたい。
- 13 森林保全の観点から、山林の下刈り、雑木伐採、間伐・枝払いなど山林整備の検討をされたい。

14 早月川水系の水資源保全の観点から、さらなる水質監視システムの強化を図りたい。また、監視箇所の増設、監視頻度の強化、マニュアルの策定等についても検討されたい。

15 教育費（教育振興費）の内、特に備品購入費の執行率が少ない。学校現場と教育委員会の認識にかい離が見られるので、各学校の実情を十分に把握されたい。

16 就学援助を必要とする児童・生徒が増えている。学校、保護者への制度の周知を徹底し、必要な援助が適切に受けられるよう努められたい。

17 みのわたニス村の将来的な視点に立つて、施設や運営等について抜本的な見直しを行い、中・長期的な活用計画を策定されたい。

18 文化・伝統・郷土芸能を伝承するため、行政指導や補助金の増額により保存会の育成や活性化に努められたい。また、本来の盆踊りの輪廻りを復活されるよう、ふるさと龍宮まつりの街流しも検討されたい。

第4回臨時会の委員会の審査から

第4回臨時会の常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

産業厚生建設委員会

審査議案は2議案であり、原案のとおり可決しました。

- ◆議案第55号 動産の取得について（ロータリ除雪車）
- ◆議案第56号 動産の取得について（除雪トラック）

研修会を開催しました

10月10日、議会改革、議員研修の一環として、産業研修センターで研修会を開催しました。市民の皆さんも含め約50名の参加があり、講師から「今、市議会に求められていること」議基本条例などの制定に向けてと題した講演を行っていただき、その後、積極的に質問や意見が交わされました。

並行在来線等問題

特別委員会行政視察 (8月2日)

◆奈良県フットボールセンター（奈良県磯城郡田原本町）

◎奈良県フットボールセンターは、日本サッカー協会のフットボールセンター事業を利用し、奈良県立志貴高校跡地に建設された。所有者、運営者は奈良県サッカー協会であり、日本に数例しかない100%民間の施設である。

◇収入の中で「体力作り事業委託費」というものがあつた。これは、田原本町から委託を受けている事業であり、「夏休み子どもサッカー教室」、「親子体力教室事業」、「グランドゴルフ大会実施」、「グランドゴルフ練習」の4つの事業であつた。

キラリんのひんぐちメモ



第3回は、誌面の都合上、お休みいたします。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。
市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。
詳しくは、事務局までご連絡ください。
電話475-2111（内線371）

議会報編集委員
水野達夫委員長 前田新作副委員長 岩城晶巳委員長
古沢利之委員 中川 勲委員 野末利夫委員

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、12月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。



なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（12月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。

議会放送と録画放送のご案内

9月定例会での①議員提出議案、②請願・陳情、③意見書提出要請、④要望書について

件名及び提出者

処理結果

① 議員提出議案（6件）

- | | | | |
|---|------------|--------------------------------------|----------|
| 1 | 議員提出議案第8号 | 地方税財源の充実確保を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| | 滑川市議会議員 | 岩城晶巳 外9名 | |
| 2 | 議員提出議案第9号 | 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書 | 本会議結果＝可決 |
| | 滑川市議会議員 | 高橋久光 外9名 | |
| 3 | 議員提出議案第10号 | 来年4月からの消費税増税の中止を求める意見書 | 本会議結果＝否決 |
| | 滑川市議会議員 | 古沢利之 外1名 | |
| 4 | 議員提出議案第11号 | T P Pからの撤退を求める意見書 | 本会議結果＝否決 |
| | 滑川市議会議員 | 古沢利之 外1名 | |
| 5 | 議員提出議案第12号 | 滑川市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について | 本会議結果＝否決 |
| | 滑川市議会議員 | 森 結 外3名 | |

- 6 議員提出議案第13号 滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
 本会議結果=可決
 滑川市議会議員 開 田 晃 江 外 4 名
- ② 請願・陳情 (1 件)
 ・東福寺野自然公園パークゴルフ場利用料金に関する請願..... 本会議結果=採択
 滑川市パークゴルフ協会 会長 神 田 真 邦
- ③ 意見書提出要請 (4 件)
 1 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める要請書..... 議会運営委員会不一致
 新川民主商工会 会長 水 木 正 和 (議員提出議案第10号へ)
 2 地方税財源の充実確保を求める意見書..... 議会運営委員会不一致
 全国市議会議長会 会長 佐 藤 祐 文 (議員提出議案第8号へ)
 3 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に
 関する陳情について..... 議会運営委員会不一致
 全国森林環境創設促進議員連盟 会長 板 垣 一 徳 (議員提出議案第9号へ)
 4 T P P 交渉からの撤退を求める意見書提出の要請..... 議会運営委員会不一致
 農民運動富山県連合会 大 橋 国 昭 (議員提出議案第11号へ)
- ④ 要望書 (2 件)
 1 少子化問題の解決に関する陳情書..... 全議員へ参考配付
 N G O 滋 賀 爽 り 会 本 部 全 国 爽 り 会 代 表 森 壽 和
 2 「要支援者に対する介護保険サービスの継続」を求める意見書提出のお願い 全議員へ参考配付
 公益社団法人 認知症の人と家族の会 富山県支部 代表世話人 村 井 和 恵

9 月定例会での本会議の結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第57号 滑川市名誉市民の推挙について 原案同意 (賛成全員)
 ◎議案第58号～議案第81号 原案可決 (賛成全員)
 平成25年度滑川市一般会計補正予算 (第2号) 外23件
 ◎請願第1号 東福寺野自然公園パークゴルフ場利用料金に関する請願..... 採 択 (賛成多数)
 賛成者=原・岩城・石倉・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
 反対者=水野・高木・中島・森
- ◎議案第82号 滑川市教育委員会の委員の任命について 原案同意 (賛成全員)
 ◎議員提出議案第8号..... 原案可決 (賛成多数)
 地方税財源の充実確保を求める意見書
 賛成者=水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
 反対者=森
- ◎議員提出議案第9号..... 原案可決 (賛成多数)
 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書
 賛成者=水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
 反対者=森
- ◎議員提出議案第10号 原案否決 (賛成少数)
 来年4月からの消費税増税の中止を求める意見書
 賛成者=水野・古沢・森
 反対者=高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
- ◎議員提出議案第11号 原案否決 (賛成少数)
 T P P からの撤退を求める意見書
 賛成者=水野・古沢・森
 反対者=高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田
- ◎議員提出議案第12号 原案否決 (賛成少数)
 滑川市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について
 賛成者=水野・古沢・野末・森
 反対者=高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・高橋・前田
- ◎議員提出議案第13号 原案可決 (賛成多数)
 滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
 賛成者=水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・高橋・前田
 反対者=野末・森

第4回臨時会での結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第55号 原案可決 (賛成全員)
 動産の取得について (ロータリ除雪車)
 ◎議案第56号 原案可決 (賛成全員)
 動産の取得について (除雪トラック)